

川島町役場

施設概要

誰もが利用しやすい庁舎として、全ての人に配慮したユニバーサルデザインを取り入れ、平成27年12月に竣工。

環境に配慮し、雨水や地中熱の利用、太陽光発電、内装木質化、自然採光や換気など自然エネルギーを活用するとともに、建物の耐用年数を100年と長寿命化することにより建て替えに係る地球環境負荷も低減しました。

町民を守る庁舎として、耐震性の確保及び浸水対策を施し、屋上には72時間稼働可能な自家発電設備を備え災害対策本部機能を維持します。



雨水の用途

トイレの洗浄水

消防用水



※ 消防用水として、消火栓で利用できるのが特徴。



効果

水道使用量削減

役場で使用する水のうち、約540㎡に雨水を利用。

水道料金削減

旧庁舎に比べ、水道料金を約66%削減。

雨水の有効利用PR

雨水の利用を、庁舎入口のディスプレイ等でPR。

担当者の声

雨水にチリやホコリが混入しないよう、雨水活用設備導入の際は苦労しました。

雨水を利用し、水道料金を削減できました。役場で使用する水のうち、約46%を雨水でまかなえています。

雨水設備の状況



雨どい → 沈砂槽 → フィルター槽 → 雨水貯留槽

雨水は、屋上から雨どいを伝って、建物外地下に設置された沈砂槽に向かいます。沈砂槽、フィルター槽でチリやゴミを取り除かれた雨水は、建物内地下に設置された雨水貯留槽で貯留され、利用されます。



トイレにおける雨水利用PR

トイレの各ブース及び男子トイレ小便器横に、雨水利用PRのステッカーを掲示しています。



川島町庁舎のエコシステム紹介

庁舎入口のパネルで、雨水利用を含めた川島町庁舎のエコシステムを紹介。先月の雨水利用量が示されています。

雨水活用施設データ

所在地	川島町下八ツ林870-1		
施設の用途	事務所ビル		
建物の延床面積	4,463㎡	集水面積	2,280㎡
雨水の利用開始	平成28年(2016年)1月		
雨水の用途	トイレの洗浄水、消防用水		
集雨場所	建物屋上		
貯水場所	建物(地下)	貯留容量	100㎡
年間の雨水使用量	約540㎡(推計)		
雨水不足時の対応	水道水を使用(雨水不足実績なし)		